ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド
＜愛称　ＥＳＧナビ＞

追加型投信／国内／株式／インデックス型

交付運用報告書

第２期（決算日2022年３月10日）

作成対象期間（2021年３月11日～2022年３月10日）

第２期末（2022年３月10日）	
基準価額	13,248円
純資産総額	11,497百万円
第２期	
騰落率	△ 3.1%
分配金（税込み）合計	0円

（注１）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記ＵＲＬにアクセス ⇒「ファンド情報」を選択し、該当のファンドを選択 ⇒「運用報告書（全体版）」を選択

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド」は2022年３月10日に第２期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドは、主として「JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に投資し、iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ちばぎんアセットマネジメント

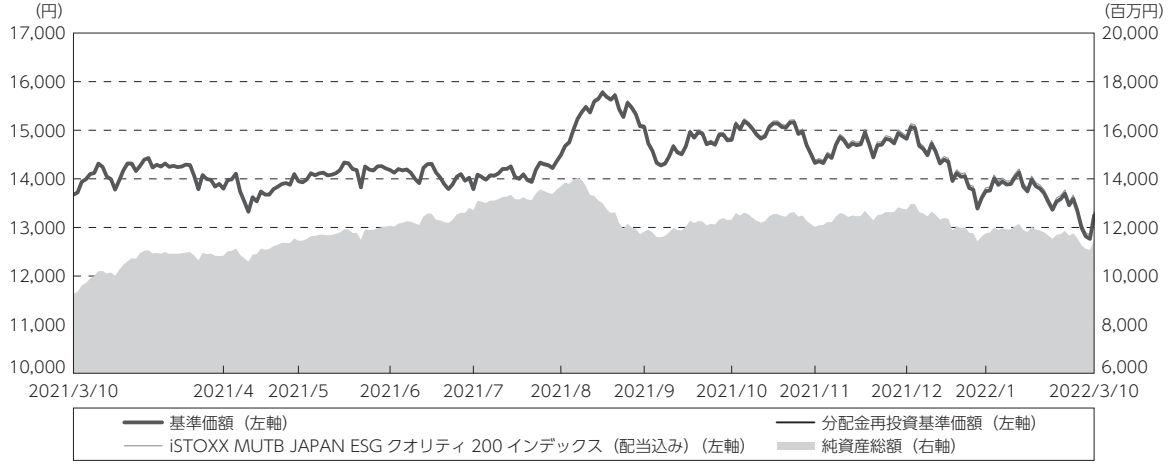
東京都墨田区江東橋２丁目13番７号

＜照会先＞
電話番号：03-5638-1451
（受付時間は営業日の午前９時～午後５時です。）
ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年3月11日～2022年3月10日)



期　首：13,675円
期　末：13,248円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：△ 3.1%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額およびiSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は、期首（2021年3月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注4）iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は当ファンドのベンチマークです。
（注5）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当期末において13,248円となりました。期中に分配金が0円でしたので、期首比3.1%（信託報酬控除後）の下落となりました。

（プラス要因）

・衆議院選挙での与党勝利による政治的不透明感の後退と経済対策への期待
・新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大したことによるデルタ型変異株の感染減
・円安ドル高の進行

（マイナス要因）

・世界的な金融引き締めへの懸念
・中国大手不動産の債務問題
・新型コロナウイルスのオミクロン型変異株の感染拡大
・ウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まり

１万口当たりの費用明細

（2021年3月11日～2022年3月10日）

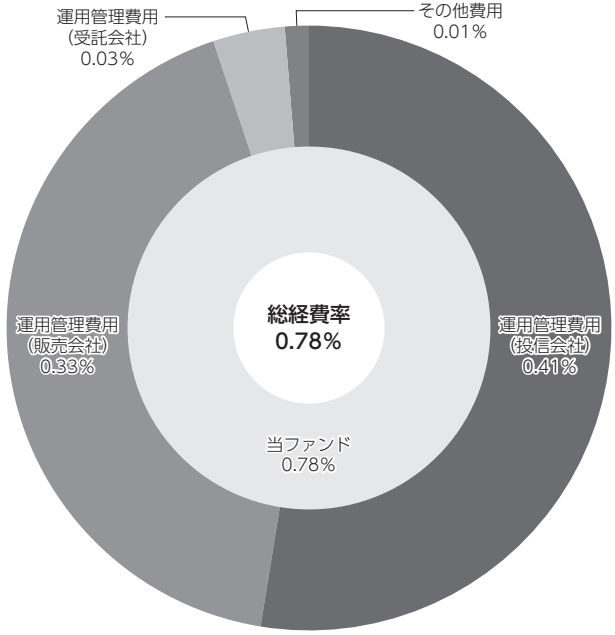
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	110	0.770	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(58)	(0.407)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(47)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.020	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.015)	
（先物・オプション）	(1)	(0.005)	
(c) その他費用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	114	0.795	
期中の平均基準価額は、14,226円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注４）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

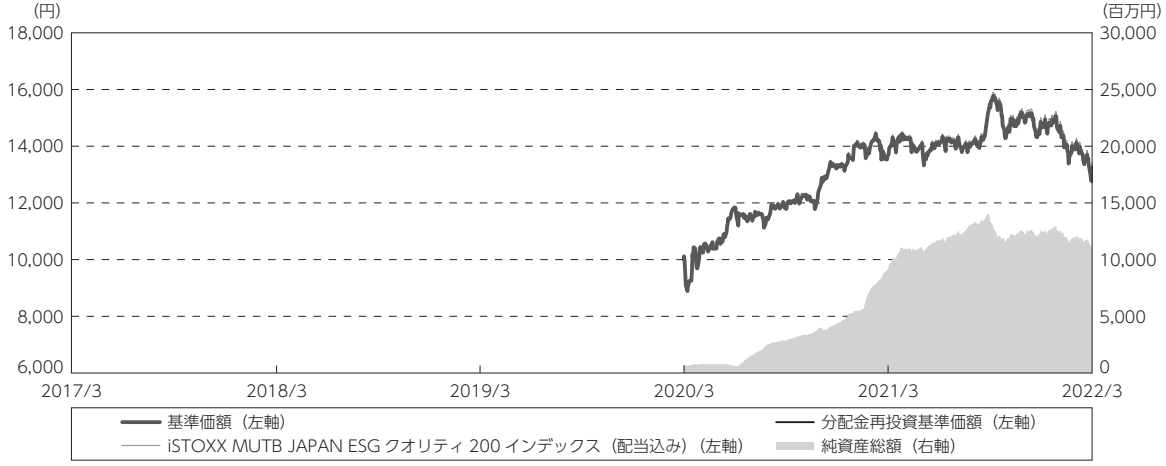
期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78％です。



（注１）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注５）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2017年3月10日～2022年3月10日）



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注４）当ファンドの設定日は2020年３月10日です。

	2020年３月10日 設定日	2021年３月10日 決算日	2022年３月10日 決算日
基準価額　(円)	10,000	13,675	13,248
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(％)	－	36.8	△ 3.1
iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス(配当込み)騰落率　(％)	－	37.6	△ 2.5
純資産総額　(百万円)	693	9,282	11,497

（注１）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年３月10日の騰落率は設定当初との比較です。
（注４）iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

（2021年3月11日～2022年3月10日）

当期の国内株式市場は下落しました。

期初から2021年５月中旬にかけては、米国でのインフレ懸念の高まりによる米長期金利の上昇をきっかけとした米国株式市場の下落が日本にも波及したことなどを背景に、日経平均株価は一時27,300円台まで下落しました。６月中旬にかけては、米国インフラ投資計画への期待や国内の新型コロナウイルスワクチンの接種拡大を受けた経済正常化期待を背景に、日経平均株価は29,400円台まで上昇しました。

その後、８月中旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けた金融緩和縮小の早期化観測や国内外における新型コロナウイルスのデルタ型変異株の感染拡大などを背景に軟調な動きとなり、日経平均株価は一時26,900円台まで下落しましたが、９月３日に菅義偉前首相が自民党総裁選挙への出馬を見送る意向を示したと伝わると、衆議院解散総選挙での与党大敗リスクの後退や政策期待などを背景に大きく上昇に転じ、日経平均株価は一時30,700円台まで上昇しました。その後、10月上旬にかけては、中国大手不動産会社の債務不履行問題や米国の量的緩和策縮小への懸念などを受け、日経平均株価は一時27,200円台まで下落しました。

11月中旬にかけては、為替の円安ドル高の進行や米国株高、衆議院選挙での与党勝利を受けた政治的不透明感の後退などから、日経平均株価は29,900円台を回復しました。

期末にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株の世界的な感染拡大や、インフレ懸念の高まりによる米国金融当局のタカ派的な姿勢と金融緩和縮小前倒しへの懸念などが重しとなったほか、ウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりも重なったことで相場は下落基調となり、日経平均株価は25,600円台で期を終えました。

このような環境下、ベンチマークであるiSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は期首比2.5％下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年3月11日～2022年3月10日）

（当ファンド）

当ファンドは、「JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド」受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

（JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド）

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。株式ポートフォリオは、ベンチマークであるiSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年3月11日～2022年3月10日）

ベンチマークとのかい離は△0.58％程度となりました。

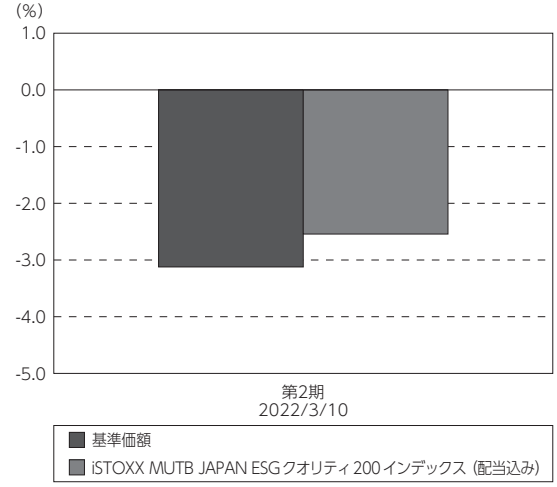
マザーファンド保有以外の要因

管理コスト等による影響は△0.78％程度でした。

マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は＋0.20％程度でした。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注1）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
（注2）iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

（2021年3月11日～2022年3月10日）

基準価額水準、市況動向等を勘案し、収益分配を行わないことといたしました。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項　　目	第２期 2021年３月11日～ 2022年３月10日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,248

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド」受益証券を高位に組入れて運用を行います。

（JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド）

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

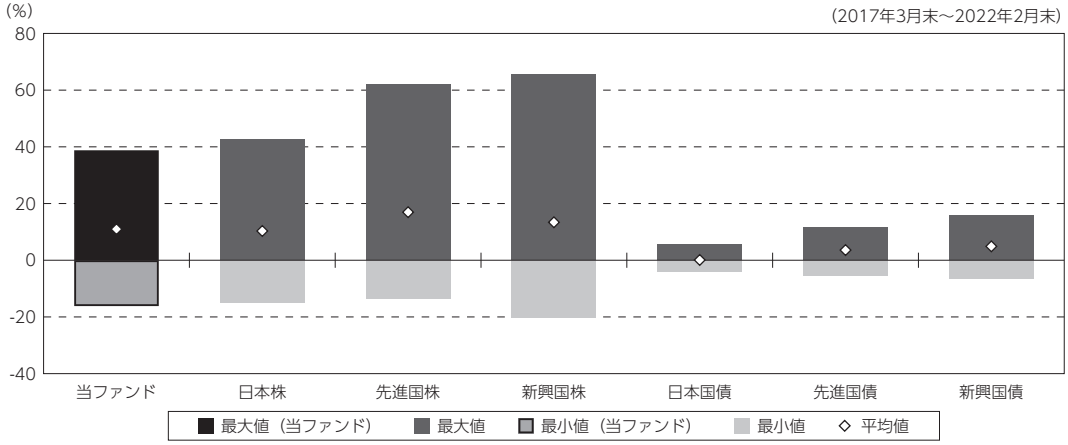
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間	2020年３月10日から無期限です。	
運用方針	iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド	「JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 なお、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に直接投資する場合があります。
	JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として「JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に投資し、iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準等、市況動向等を勘案して、分配を行う方針です。 ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	38.8	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 16.2	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 5.6	△ 6.6
平均値	11.0	10.3	16.9	13.4	0.1	3.6	4.9

（注１）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）2017年３月から2022年２月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しております。
（注３）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注４）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：Morningstar 日本株式指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
新興国株：Morningstar 新興国株式指数
日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

上記の代表的な資産クラスの指数を変更いたしましたが、当ファンドの商品性に変更ございません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2022年3月10日現在）

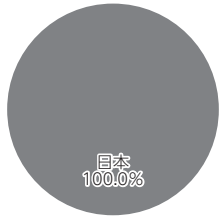
○組入上位ファンド

銘　　柄　　名	第２期末
	%
JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

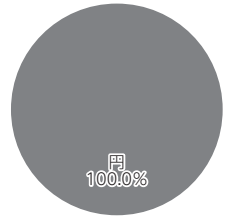
（注１）比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分



○通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項　　目	第２期末
	2022年３月10日
純資産総額	11,497,126,558円
受益権総口数	8,678,360,090口
１万口当たり基準価額	13,248円

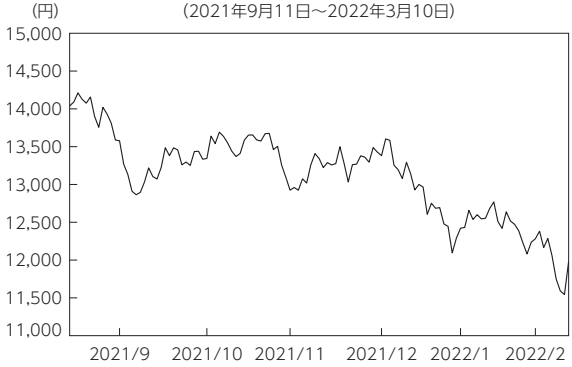
（注）期中における追加設定元本額は6,354,872,951円、同解約元本額は4,464,517,449円です。

組入上位ファンドの概要

JAPAN ESGクオリティ200インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

（2021年9月11日～2022年3月10日）



【１万口当たりの費用明細】

（2021年9月11日～2022年3月10日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	1	0.008
（株式）	(1)	(0.006)
（先物・オプション）	(0)	(0.002)
合計	1	0.008
期中の平均基準価額は、12,988円です。		

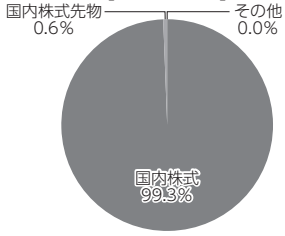
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

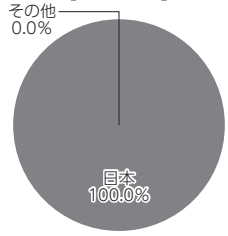
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ＫＤＤＩ	情報・通信業	円	日本	2.5
2	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	2.4
3	任天堂	その他製品	円	日本	2.4
4	伊藤忠商事	卸売業	円	日本	2.3
5	武田薬品工業	医薬品	円	日本	2.1
6	信越化学工業	化学	円	日本	2.0
7	三井物産	卸売業	円	日本	2.0
8	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	1.9
9	村田製作所	電気機器	円	日本	1.9
10	ソニーグループ	電気機器	円	日本	1.9
組入銘柄数		202銘柄			

（注１）比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注３）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

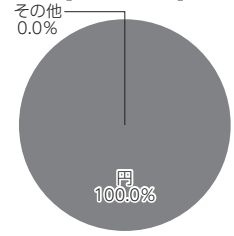
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注１）比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注３）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
（注４）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2022年３月10日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ 200インデックス（配当込み）とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から、時価総額、流動性、ESGデータによりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、高ROEの持続性のポテンシャルの高さ、ESGマネジメントスコアの高さを評価して200銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ200インデックス（配当込み）は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド（以下「STOXX社」）が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。
STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ 200インデックス（配当込み）およびそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、またはiSTOXX MUTB JAPAN ESGクオリティ 200インデックス（配当込み）もしくはそのデータに関するエラー、遺漏もしくは中断について、何ら保証するものではなく、（過失の有無を問わず）いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性および目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に関係する情報の流布または再配信は、一切禁止されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

・日本株
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
・先進国株
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
・新興国株
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
・日本国債
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
・先進国債
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
・新興国債
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

〈重要事項〉

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」といいます）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」といいます）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および／または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。